

担当教員 南 真木人	Instructor Name MINAMI Makito			
開講期 前期	Class Starts at 1 <sup>st</sup> Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード/ 20DRSb06	Subject Code			単位 / Credit 2
科目名称： 南アジア文化研究特論				
Subject： Proseminar (South Asian Studies)				
授業概要： ネパールの現代政治と社会的包摂 Current Politics Toward Social Inclusion in Nepal ・講義と演習 ・北部南アジアにおける民主化と国民形成、包摂と排除、社会運動などのテーマを取り上げ、社会的、文化的、政治的な包摂をめぐる議論を学習する。授業は講義と討論で構成し、後者では受講者自らのフィールドに照らした社会的包摂の問題を提示してもらう。				
教育目標・目的： ・ネパール、ブータン等の北部南アジア地域における近年の政治状況を包摂の観点から理解する。 ・西欧出自の社会的包摂の概念が、他の地域でいかに受容され、またされずにきたかを比較する。 ・包摂と排除をめぐる現状と課題を把握する。				
授業計画： 講義の内容は以下を予定する。 1. ガイダンス 2～3. ネパールの新憲法（2015年）と社会運動、留保制度 4. 社会的包摂とカースト／民族間関係および国家 5～6. 国際労働移民と北部南アジア 7. 社会保障と給付金 8. ブータンの国民幸福度、環境主義 9. インドの西ベンガル州ダージリン地方及びシッキム州の民族運動 10. 他地域における社会的包摂 11. まとめ				
成績評価： 授業への参画度（40%）、レポート（60%）				
実施場所： 民博4階、演習室				

使用言語：

日本語

教科書・参考書：

参考書として、石井溥編 2005『流動するネパール—地域社会の変容』東京大学出版会。マンジュシユリ・タパ 2006『ネパールの政治と人権—王政と民主主義のはざまで』（萩原律子・河村真宏監訳）明石書店。南真木人・石井溥編 2015『現代ネパールの政治と社会—民主化とマオイストの影響の拡大』明石書店。

備考：

地域文化学専攻・比較文化学専攻の学生のみ履修可